

サッカーワールドカップ日本招致で起 こりうる課題について

桐蔭横浜大学田中ゼミTチーム

©田邊隼人 若月惇也 佐々木伶 福島悠理

目次

1	緒言
2	現状
3	課題
4	提言
5	期待される効果

緒言

近年、インターネットの普及とともにチケットの転売が増加しトラブルや違法転売が増加し社会問題となっている。

その大きな原因となっているのがダブ屋行為である。

出典：慶應義塾大学穂刈享研究会 金柄拓也 饗場滉一郎
下村渉 橘和治 西岡祐紀 西川裕香 浜崎和久 安井英治
「ダブ屋行為の経済分析」、三田祭論文

ダブ屋行為とは？

ダブ屋とは元の値段で大量購入し、他人に高額な値段でチケットを売りさばくことである。

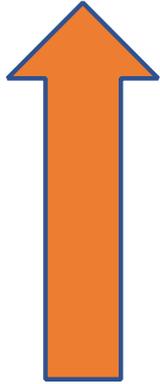


出典：慶應義塾大学穂刈亨研究会 金柄拓也 饗場滉一郎 下村渉 橘和治
西岡祐紀 西川裕香 浜崎和久 安井英治「ダブ屋行為の経済分析」,三田祭論文

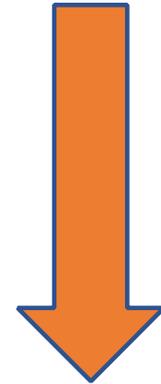
不正転売の流れ



まとめて定価買い



切れ



出典：USJ、転売チケット使わせません。 買占めに強制措置
<http://blog.livedoor.jp/esouzoku/archives/2015-10.html?p=2> (2017年9月17日閲覧)

なぜ、購入してしまうのか？

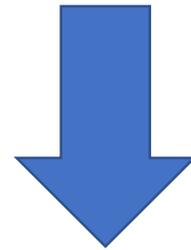
チケット消費者の中には、熱烈なファンも大多数いる。

そのため…



チケットを購入することができず、不正に引き上げられた金額を提示されていると理解しながらも購入してしまう現状がある。

つまり…



チケットの価格は消費者が決める。という風潮にある。

スポーツ基本計画の一文より…

スポーツ基本計画には、国際的な貢献・交流を推進するため、オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会等の積極的な招致や円滑な開催、国際的な人的ネットワークの構築等を行うと述べ、今後、各種国際大会が日本で開催される可能性が極めて高いと言える。

出典：文部科学省『第2期スポーツ基本計画』（2017年4月23策定）

印象

- 平和な国、クリーンなイメージ

現実

- チケット転売が起きている

理想

- クリーンなイメージのままにしたい

現状

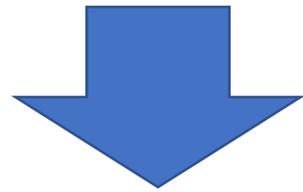
かつてはコンサートや、スポーツイベント会場の前でチケット転売をするものが多く見られた。

しかし

情報社会になり、インターネットが上で転売出来るようになったことで移りかわりが進んでいる..

事例としてどんなことが起きているのか

女子中学生が人気アイドルグループのコンサートチケットを定価の何倍もの値段にし、転売したことで逮捕されるという事例が発生している。



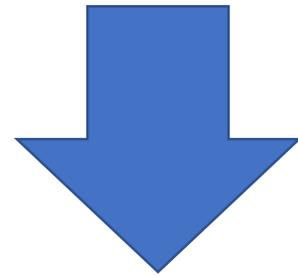
年齢関係なく転売が可能

出典：朝日新聞夕刊2017年4月11日

他の事例

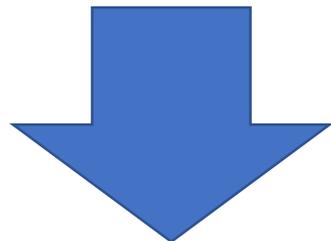
- ホームレスを使い不正転売

ホームレスを使い、転売目的でチケットを大量購入し、高額な料
金で転売。（日本経済新聞 夕刊 2017年9月26日）



チケットを大量購入されたことにより売り切れが続出し、定価で
買うことができなくなる。

- ダブ屋が転売目的でチケットを購入し、チケットが売り切れたにもかかわらず、5000席に対して空席700席もあった。



空席が目立ち盛り上がりにかけてしまう。
行きたいけど行けない人が多くいた。

出典：女性セブン編集部著：『女性セブン2016年10月27日号』、小学館、2016年10月

東京都の迷惑防止条例第2条では・・

各交通機関の乗車券、急行券、指定券、寝台特急券や入場券、観覧券等の娯楽施設利用券などについて

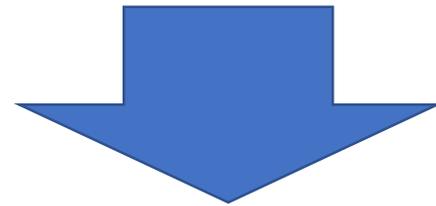
公共の場での転売行為は
禁止されているのである！！

しかし、

インターネットなどのネットワーク取引の場
では、公共の場とされていないため取り締ま
りがあまりできず、誰でも売買できてしま
うのが現状である。

こういった現状があるため、日本でW杯を開催するとなるとチケットの販売が開始された際に外国人を狙った不正転売は起きかねない。

国民の73%が不正転売に反対している。



不正転売は減らせる！

出典：ORICON NEWS <http://www.oricon.co.jp/special/48851/> (2017年9月23日)

課題

では、

ダブ屋行為に対する対策は行なっているのだろうか。

行われている活動

- ・ チケット販売元（チケットぴあ等）

チケット不正販売の注意喚起を行い、サイト内で転売についての取り組みを報告している。

- ・ HPの立ち上げ

大物アーティストたちが立ち上がり、不正転売に反対する協賛ページが掲載されている。また、過去に起きた事例などを基にアーティストたちの声が掲載されている。

チケットぴあでは

ファンクラブ会員登録

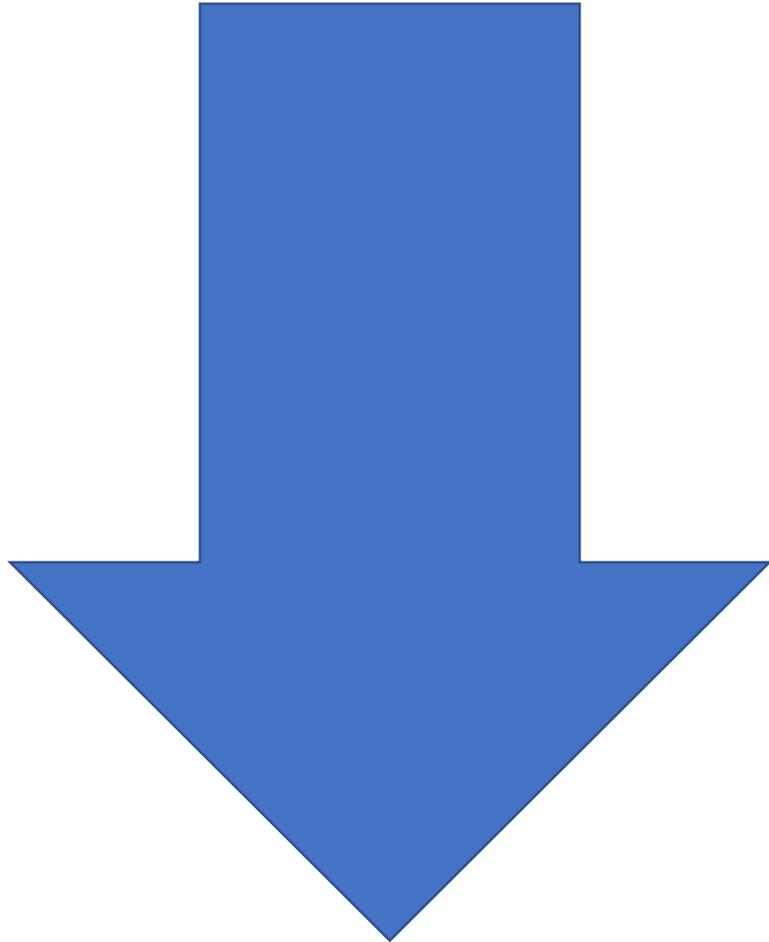
- **多重登録の防止**

チケットが一人一人公平に申し込みできるよう登録。

多重登録があった場合は退会。



1 次流通サービス

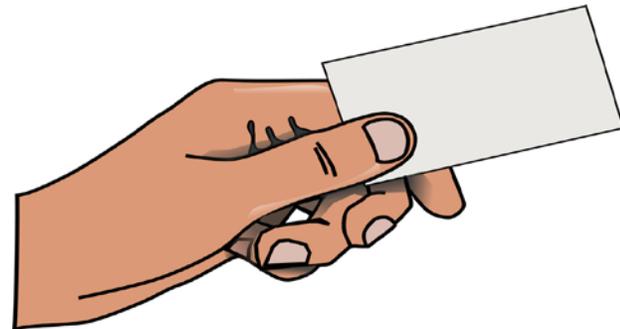


- **多重申し込みの防止**

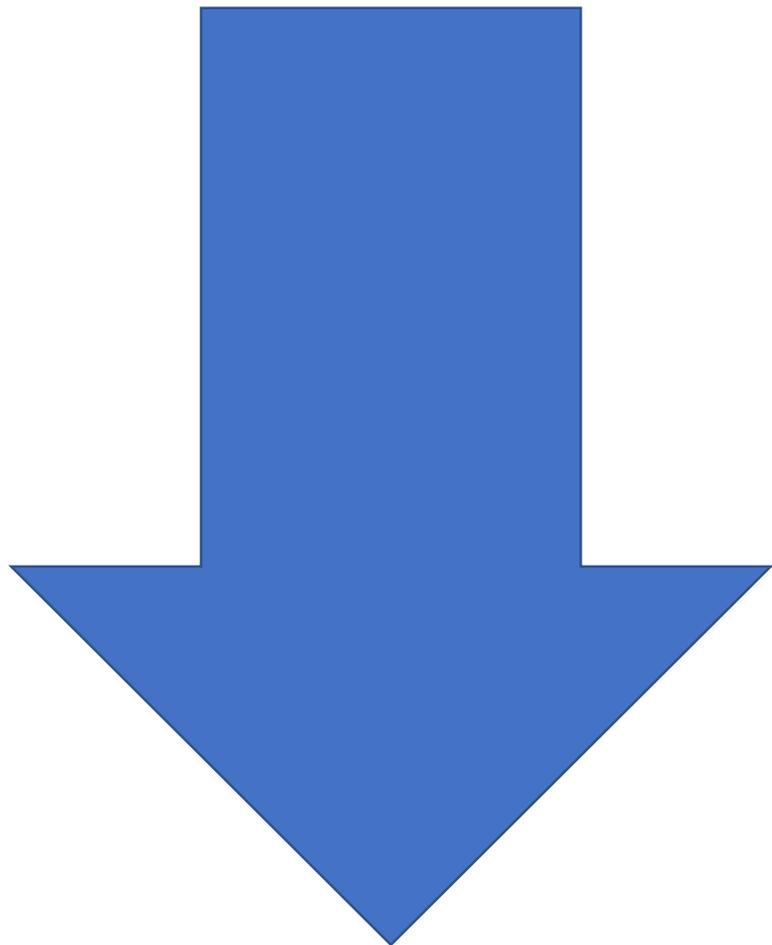
利用者に公平に申し込みいただくために、抽選販売の申し込みは1公演一人一回まで。

- **チケット発券を遅らせる**

チケットの発券日を遅らせることによって転売を難しくする。



2次流通サービス

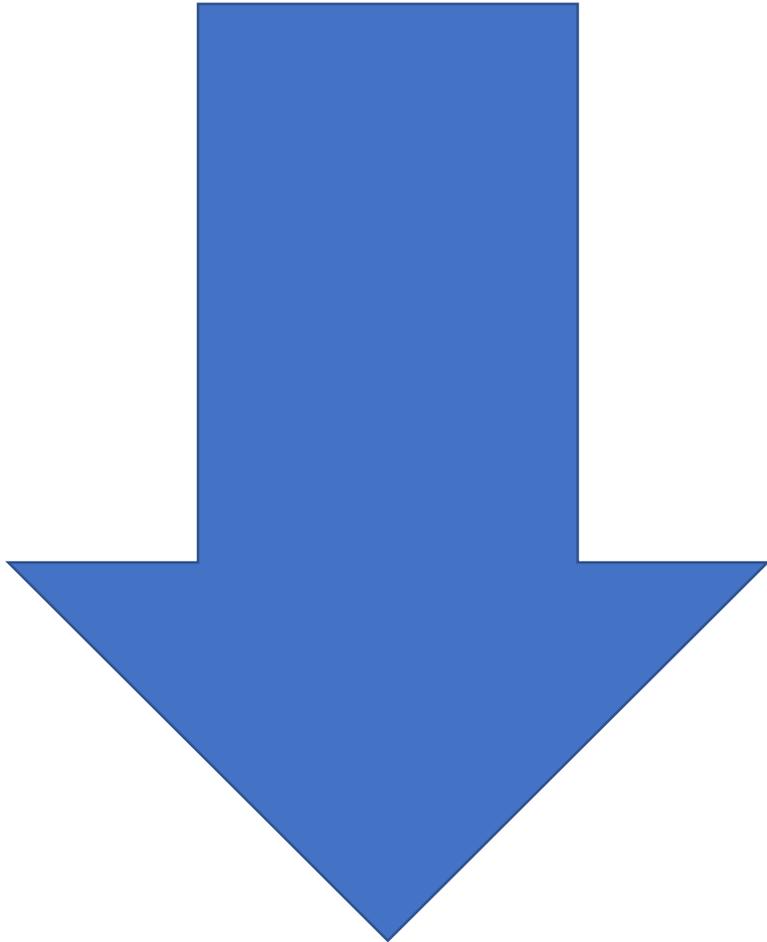


- **定価リセールの導入**

チケットぴあで購入された未発券
チケットを定価で再販売。



認証サービス



- **電子チケット等による本人確認の厳格化**

クレジットカード、QRコード、スマートフォン個人識別番号認証を利用し、利用者の本人確認を行っている。また、一部の公演では、チケット券面への購入者氏名印字を行い、身分証での本人確認を行っている。
※興行主催者に応じて実施



出典：「ぴあの取り組み」

<http://t.pia.jp/info/info-tenbaino.jsp>
(2017年9月21日)

大物アーティストが協賛し、チケットの高額転売を反対している。

出典：「私たちは音楽の未来を奪うチケットの高額転売に反対します」 <https://www.tenbai-no.jp> (2017年9月18日閲覧)

私たちは音楽の未来を奪う チケットの高額転売に 反対します

コンサートのチケットを買い占めて不当に価格を釣り上げて転売する個人や業者が横行している現状に、私たちは強い危機感を持っています。これらの組織的・系統的に買い占めるごく少数の人たちのために、チケットが本当に欲しい数多くのファンの手に入らないことに強い憤りを感じています。転売サイトで、入場できないチケットや偽造チケットが売られるなどして、犯罪の温床となっていることにも憂慮しています。

また、私たちアーティストが気づき知らないところで自らのライブのチケットが高値で転売されることで、ファンは高い金額を払って大きな経済的負担を受け、何回もコンサートを楽しめたり、グッズを購入できたであろう機会を奪われています。

このように、すべての弊害が音楽を愛するファンに及んでいる状況を放置しておくべきではないと私たちは考えています。

イギリスでもレディオヘッド、ワン・ダイレクション、コールドプレイ等がチケット転売を防ぐための活動をしています。日本の音楽業界でも、ファンがチケットを適正な価格で売買できるシステム作りを始めていたり、ネット上のダフ屋行為を取り締まれない現行法規の改正を政府や自治体に対して訴えています。

ファンから音楽を楽しむ豊かさを奪う、この「チケット転売問題」について、皆様にもぜひ一度お考えいただきたいと思います。

音楽ファンのための
公式チケットトレードリセール「チケトレ」

公式チケットトレードリセール

チケトレ

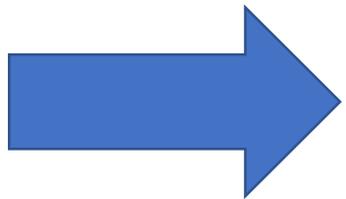
チケトレ発表リリース

転売目的での購入は詐欺、神戸地裁が有罪判決
一般のファンも実質的な被害者と言及

悪質な高額転売の逮捕報道

#転売NO

- このように、転売防止策をホームページに掲載していても消費者は認知できていない。
- そのため、これらのサービスが利用しきれていないことや普及があまりされていないのが課題である。
- また、大物アーティストが声を上げているにも関わらず、悪い状況を理解できていないためダブ屋からの購入を行っている。



これらの課題から考える私たちの提案

提言

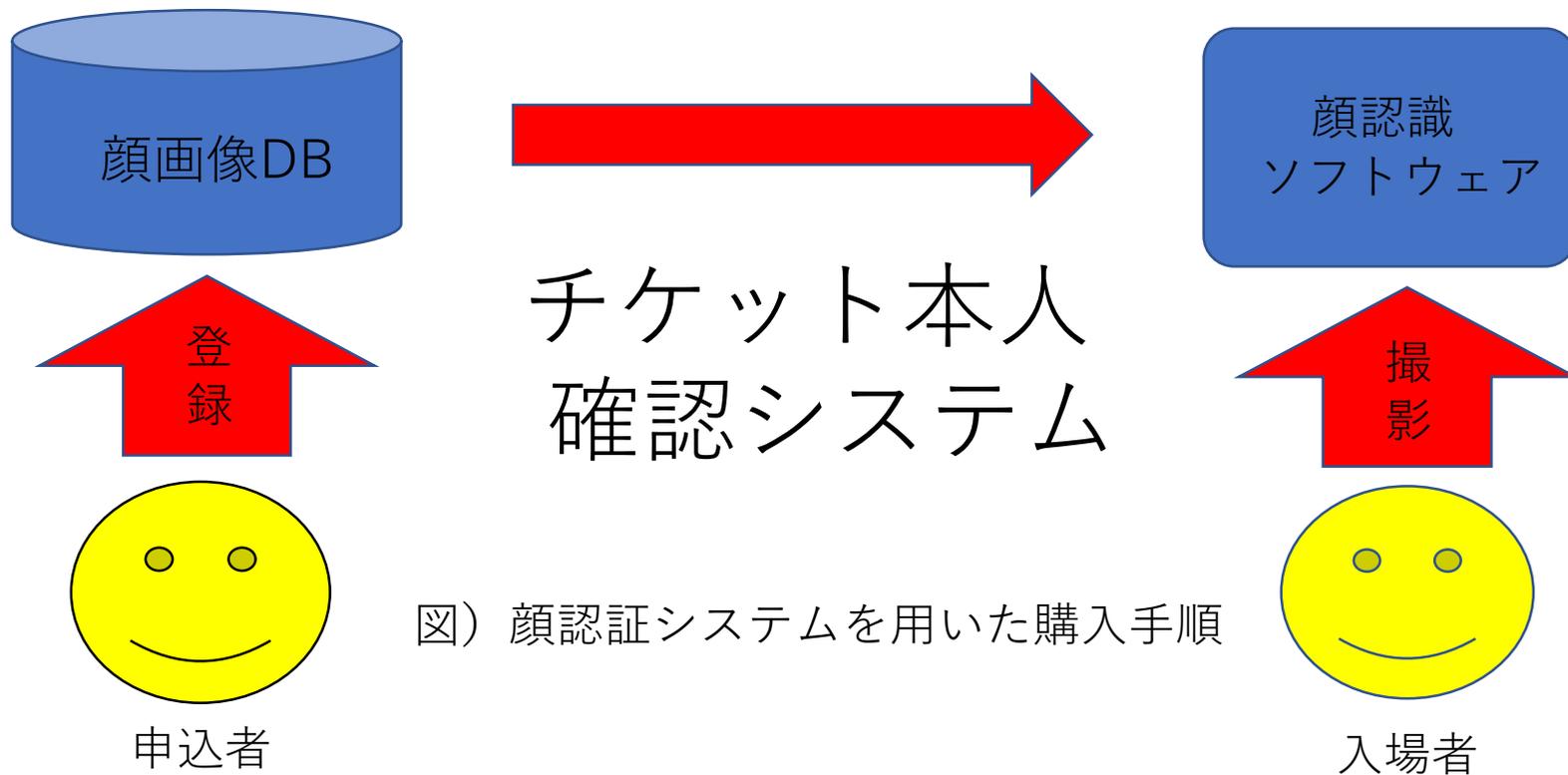


図) 顔認証システムを用いた購入手順

最新技術を利用した本人確認システム

①指静脈の登録

②座席購入

③来場及び認証

入場完了

出典： Suicaの代わりに「手」をかざす時代がやってくる？ 日立のウォークスルー型指静脈認証を見てきた
<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/spv/1704/27/news042.html> (2017年9月26日閲覧)

チケットのICカード化

転売に気づきにくい

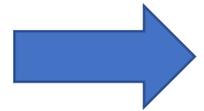
ICカード化

必ず
個人情報が出る

無くしても情報
漏洩はない

それぞれのメリット

- 顔認証、指静脈認証



入場に時間がかからず、本人確認が正確。

- 住所記載



購入者の身元が分かってしまうため、転売が行いにくい。

- ICカード化



情報の表示が可能のため、本人確認が正確。

それぞれのデメリット

- 顔認証、指静脈認証 → コストがかかる。
- 住所記載 → 個人情報漏えいの恐れあり。
- ICカード化 → 入場時に時間がかかる。

チケットの販売、入場システムの認知度を上げる

チケット公
式サイトの
行なってい
る政策

広告に掲載
(SNS,電車
広告)

利用者の
認知度向
上

これらの認知度を上げることで

- ・不正転売の悪い点を理解してもらう。
- ・提案した販売、入場方法をスタジアムや消費者に認知してもらいこれらが主流となるように導入する。
- ・定価以上での転売を減らし、不正な販売元からの購入を避ける。
- ・アーティストや、大会の権利を守るためにも無駄な空席を減らし、プレイヤーも心地の良いスタジアム作りを行う。

これら4つのシステムを導入し、
認知度を広める活動を行っても効果が無い場合…

- ・迷惑防止条例のみの適応ではなく、不正転売に関する法の改正を行う。また、転売するチケットを営利目的として売ることを違法とする。



不正転売が行いにくい環境を作る。

なぜ、このような点が必要なのか？

なぜ法の改正が必要なのか

現在では中学生が不正転売を行えるほど簡単にチケットを手に入れ、転売することができるシステムがある。



これらが犯罪だということを、ダフ屋や購入者にも認知してもらう必要があり、理解した上で不正転売や購入した者には罰する。

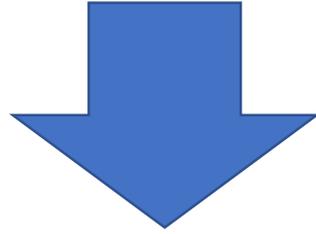


このようにして、チケット転売についての取り締まりを強化し防いでいく。

期待される効果

チケット自体に対策を設けることも大切ではあるが、一番は不正転売についての「**認知度**」を多くの人に知ってもらうことが効果的であると考えます。

また、法の改正を行うことにより犯罪意識を高めることができる



不正転売削減につながると考えられる。

少しずつではあるが、いくつかの対策を講じていくことでいつか必ずダブ屋行為を行う人間にとって脅威になることは時間の問題である。

今のうちから早めの対策を
次々に行っていく必要がある。

引用参考文献

西山雄吾 奥村明俊半田享星野隆道 津雲淳 高木剛 窪田清仁 NEC 情報システムズ：顔認証ソフトウェアを用いたチケット本人確認システム」情報処理学会第78回 大会公演論文集（2017年8月16日閲覧）p、493

https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/?action=repository_action_common_download&item_id=163113&item_no=1&attribute_id=1&file_no=1

慶應義塾大学穂刈亨研究会 金柄拓也 饗場滉一郎 下村渉 橘和治 西岡祐紀 西川裕香 浜崎和久 安井英治「ダフ屋行為の経済分析」（2016年3月10日） <http://seminar.econ.keio.ac.jp/hokari/mitaron.pdf>

TAPIRS 株式会社テイパーズ（2017年9月25日閲覧）

<https://www.tapirs.co.jp/auction.html>

USJのチケット転売対策（2017年9月24日閲覧）

<http://www.dennis.jp/archives/2288668.html>

『私たちは音楽の未来を奪うチケットの高額転売に反対します』（2017年9月18日閲覧）

<https://www.tenbai-no.jp>

ミクシィがチケット二次流通マーケットの「チケットキャンプ」を115億円で買収（2017年9月25日閲覧）

<http://jp.techcrunch.com/2015/03/19/mixi-acquires-ticketcamp/>

Suicaの代わりに「手」をかざす時代がやってくる？ 日立のウォークスルー型指静脈認証を見てきた（2017年9月26日閲覧）

<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/spv/1704/27/news042.html>

東京都迷惑防止条例（2017年9月28日閲覧）

http://www.reiki.metro.tokyo.jp/reiki_honbun/g1012212001.html

ご静聴ありがとうございました！！